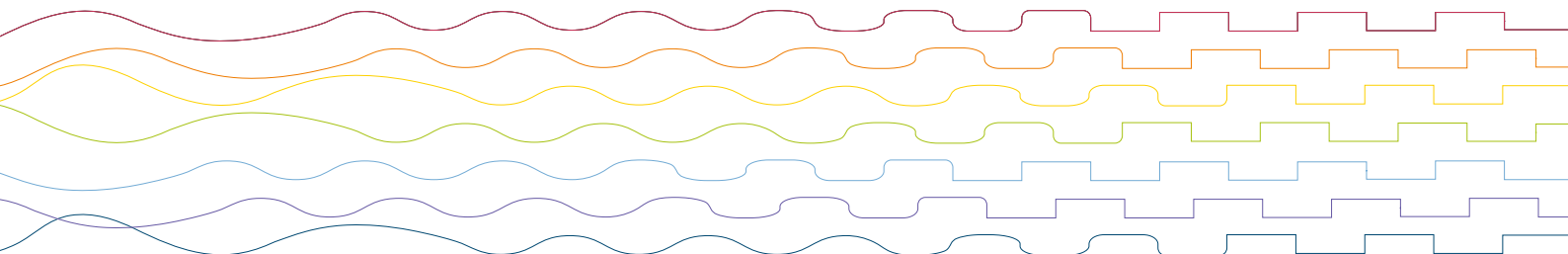


CSR Report 2014

2014 Communication on Progress



コンテンツ

- 03 トップメッセージ
- 04 シナノケンシのCSR取り組み全体図
- 06 2013年度のトピック
- 07 コミュニティへの参画
- 08 組織統治
- 09 労働慣行
- 10 環境
- 11 製品での社会貢献（消費者課題）
- 12 人権・公正な事業慣行

国連グローバル・コンパクトとは

2000年に国連で制定された、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止に関わるCSRの基本原則10項目（＝国連GC10原則）に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に向けて努力を継続し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。

基本原則10項目

- | | | |
|--------|------|--------------------------------|
| 【人権】 | 原則1 | ： 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重する。 |
| | 原則2 | ： 自らが人権侵害に加担しないよう確保する。 |
| 【労働基準】 | 原則3 | ： 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持する。 |
| | 原則4 | ： あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持する。 |
| | 原則5 | ： 児童労働の実効的な廃止を支持する。 |
| 【環境】 | 原則6 | ： 雇用と職業における差別の撤廃を支持する。 |
| | 原則7 | ： 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持する。 |
| | 原則8 | ： 環境に関するより大きな責任を率先して引き受ける。 |
| | 原則9 | ： 環境に優しい技術の開発と普及を奨励する。 |
| 【腐敗防止】 | 原則10 | ： 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組む。 |

トップメッセージ

(Statement of continued support by the Chief Executive Officer)

シナノケンシ株式会社では、今後進む国際化（グローバル化）と、それに伴うグループ組織の拡大化を考慮し、1984年に組織の効率的な事業運営と組織統制を目的に企業理念であります「目標と理念」と、社員の行動基準である「社員心得」を制定しました。特に社員の行動基準としては「誠実・公正」「信頼」を当社として伝え続けるべき大切な行動・意識として伝えてきたことは、現在の「企業の社会的責任（CSR）」に通じるところがあると考えております。

2010年には、当社を取り巻く様々な環境変化を考慮し、これらを見直し「シナノケンシの目標」、「社員心得」として新たな企業方針を制定しました。

また2011年度は、これら企業方針を当社のステークホルダーの皆さまに明確に表明し、当社の企業活動内で活用するために、「グループ行動規範」、「コンプライアンスの手引き」、および「グローバル調達基本方針」を制定いたしました。

国連グローバル・コンパクトの参加企業として、GC10原則を支持し、企業の社会的責任を果たし、グローバル社会の要請に応えて参りたいと考えます。

代表取締役社長 金子 元昭

CSR 方針

私たちは「シナノケンシの目標」に基づき、誠実な行動と公正な判断で、事業活動を通して社会に貢献し、信頼されるグローバル企業を目指します。

2011年3月11日 制定

代表取締役社長 金子 元昭

シナノケンシ株式会社 代表取締役社長

金子 元昭



シナノケンシのCSR取り組み全体図

コミュニティへの参画

省エネパトロール隊参加

出前授業

絹糸紡績資料館

会社見学

地域清掃ボランティア

献血

長野県環境保全協会活動

子育て応援Webページ（NPOパレットと共同）

消費者課題

個人情報保護規程

省エネ製品の開発・販売

設計基準・製品安全基準

広告宣伝規程

ISO9001/TS16949認証取得^{*2}

プレクストーク・補聴器の開発・販売

組織

シナノケンシの目標

シナノケンシグループ
行動規範

調達基本方針

人権

社員相談室開設

くるみんマーク認定^{*1}
(2008年)

障がい者雇用の促進

労働組合の結成

育児休業制度・介護休業制度

NPO（パレット）と連携 素敵なパパ講座

ファミリーフレンドリー企業受賞
(2008年)

セクシュアルハラスメントに関する規程
(1999年～)



C S R 方針に基づき、各項目についてC S R活動を推進しています。

公正な事業慣行

貿易管理規程

公益通報者保護規程

下請法の遵守及び教育

職務発明取扱規程

情報セキュリティ対策規程

コンプライアンス推進活動

コンプライアンス規程

個人情報管理規程

労働慣行

安全衛生委員会設置

職場別安全競争

安全衛生パトロール

メンタルヘルス講習

ヒヤリハット提案活動

作業環境測定

リスクアセスメント活動

ワークライフバランス委員会

環境

ISO14001の認証取得^{*3}

ゼロエミッション工場

環境標語の募集

C O₂削減

社内植樹活動

RoHS・REACH対応等有害物質削減活動

社員食堂（地産地消メニュー）

オゾン層破壊物質の非使用



*2



*3

統治

社員心得

CSR方針

2013 年度活動トピックス

いきいき活動

当社では、2012 年度から社内外のコミュニケーションを活性化することを目的とした活動を「いきいき活動」と称して実施してきました。2013 年度は、この活動を一層高め社内のあいさつ運動から、地域との交流まで様々な活動を実施し、社員そして地域の皆様との信頼を高めてまいりました。

あいさつ運動

社内コミュニケーションの活性のきっかけ作りのために「あいさつの習慣化」を実施しました。

はじめはなかなか声が出せなかった社員も次第に大きな声で普通にあいさつができるようになりました。



あいさつ運動の様子

家族見学イベント

社員のご家族を迎えての会社見学イベントを子供達の夏休みと春休みに実施しました。

工場見学では、普段見ることのできないパパの働く姿をみて、嬉しそうに笑顔浮かべるお子さん達が印象的でした。



家族見学イベントの様子

地域イベントに参加

毎年夏に開催される地域のお祭り（上田わっしょい）に多数の社員が参加をしました。

当社の製品の形をした仮装やおそろいのシャツ等を用意し一体感のよさが地域の皆様からも好評でした。



地域イベントの様子

コミュニティへの参画

清掃ボランティア

本社工場周辺では、毎年、周辺地域の清掃活動、および地域清掃イベントなどにも参加し、地域の皆様とのコミュニケーションをはかっています。



清掃ボランティアの様子

信州省エネパトロール

2005年から長野県は、(社)長野県環境保全協会に委託し「信州省エネパトロール隊」として、地球温暖化防止のために省エネルギー診断を行うボランティア活動を開始しました。すでに350を超える団体の診断を行い、企業の枠を超えて蓄積されたノウハウを相互に提供しあって改善提案を重ねています。

当社も設立当初から「信州省エネパトロール隊」の一員として各企業の省エネ診断に参加し、現在は東信分隊長としての役割を担って活動しています。



信州省エネパトロールの様子

絹糸紡績資料館

ノコギリ屋根と呼ばれ自然採光を取り入れた、かつての絹紡工場を改装した絹糸紡績資料館は、地域の産業と文化を伝える「産業遺産」として認定され、社内の保存資料のほか、日本絹紡協会の保存資料を全て引き継ぎ、絹糸紡績で明治・大正・明治の時代に生きた産業人の心意気や、糸の町として栄えた地域の歴史を伝える貴重な歴史を、写真・製品・映像・パネルで紹介しています。

本社構内にある同館には、信州のシルク文化や歴史を紹介するスポットのひとつとして、県内外の各地から多くの来場者が訪れています。

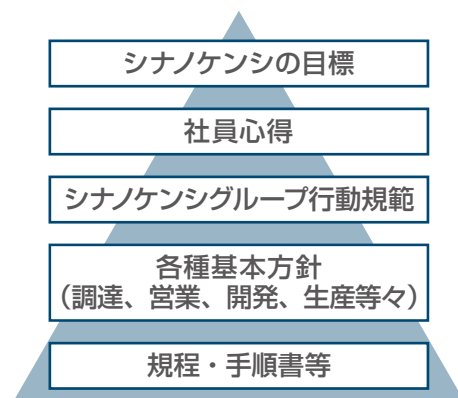


絹糸紡績資料館

組織統治

シナノケンシでは、経営の基本方針として「シナノケンシの目標」を、その目標を達成するために5項目の「社員心得」、37項目の「シナノケンシグループ行動規範」を定めシナノケンシグループとして共有しています。

これらの経営理念を基に「コンプライアンスの手引き」、「グローバル調達基本方針」等の制定をし、社内およびステークホルダーの方々に浸透を図るなどの活動を通し、CSRをさらに進化させていきたいと考えています。



経営理念体系図

シナノケンシの目標

- シナノケンシは、常に顧客にとってかけがえのない魅力に満ちた会社であることを目標とします。
- シナノケンシの真の資産は人であり、社員にとっての会社の魅力を大きくすることを目標とします。
- シナノケンシは、人とのつながりを大切にし、事業活動を通じて未来を動かす会社であることを目標とします。

(2010 年 9 月 改訂)

社員心得

- 誠実な行動と公正な判断で、信頼を高めましょう。
- お客様の喜びは自分の喜び。自ら考え、自ら行動しましょう。
- 「技」を磨き、世界で成長しましょう。
- 変化を先取りし、素早く行動しましょう。
- 常に全社的な視点とチームワークを忘れず、執念で勝利をつかみましょう。

(2010 年 9 月改訂)

労働慣行

安全衛生管理

社員と職場での災害の未然防止と健康・衛生を確保するために各職場からの代表者による「安全衛生委員会」と「職場パトロール」を毎月実施しています。

2013年度は、休業災害、不休災害ともに発生なく安全な職場を確保しました。

全国安全週間（7/1～7/7）には、「トップの呼びかけ」として社長から労災を無くす安全意識を高める全社集会を開催しています。



職場パトロールの様子

社員食堂

本社工場には社員食堂を完備しており、社員に作り立てで温かい食事をリーズナブルな価格で提供をしています。近年では、地元の食材を使用した地産地消を積極的に進めています。



社員食堂の様子

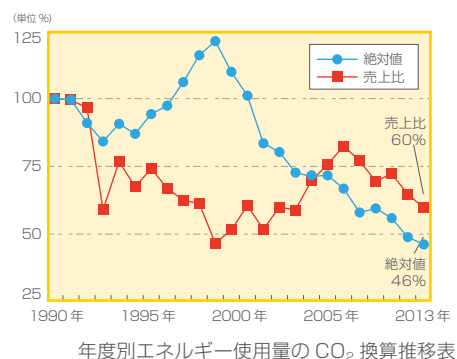
環境

CO₂ 排出量削減① ー地球温暖化防止に向けてー

地球温暖化防止対策として当社も事業所からの CO₂ 排出量削減に積極的に取り組んでいます。

設備（ハード）面では、照明の LED 蛍光灯への切替え、インバーターの設置、生産設備の統合等の対策を実施しました。

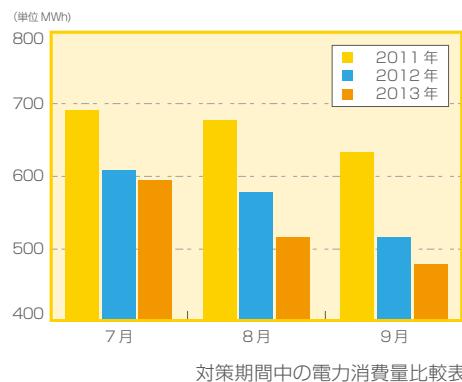
運用（ソフト）面では、空調機器用吸込み口フィルターの掃除、空調の温度のタイマー管理、パソコンの画面設定等の対策を実施しました。



CO₂ 排出量削減② ー夏季節電対策ー

2013 年は、電力の安定供給が見込まれ伝慮会社からの節電要請等はありませんでしたが、電力需要が増加する 7 月～9 月、12 月～2 月の期間に全社を挙げて節電対策を実施しました。

これにより夏期の電力は昨年度に比べて 6.6% の削減を実施することができました。



高効率小型モータ（省電力） ー当社製品による環境負荷低減へー

私たちの工場で開発・生産・販売しているモータは、よりエネルギー消費が少ない省エネタイプのモータを開発し、お客様に提案をしています。

モータによる消費電力削減を指標とし、販売の拡大を省エネモータの普及を促進しております。



DC ブラシレスモータ

製品での社会貢献（消費者課題）

デジタル録音図書読書機 「PLEXTALK（プレクストーク）」

厚生省の呼びかけに応じて視覚障がい者向けの CD 読書機の開発に取り組んだ当社と、初期 DAISY を試作したスウェーデン国立点字録音図書館が、1985 年に国際的な共同研究開発を始めました。こうして、デジタル録音図書の国際基準 DAISY (Digital Accessible Information System) が生まれました。それから十数年にわたって、世界の視覚障がい者や識字障がい者の皆様の QOL (Quality of Life) 向上をサポートする取り組みとして、ユーザビリティを追及した DAISY 読書機「PLEXTALK」の開発・提供を続けています。



デージー・プレクストーク パートナーミーティングの様子



デジタル録音図書読書機「PLEXTALK」

補聴器 「美聴」

当社は、軽度～中等度難聴の方に適した聞こえを補う機器として、「やさしい、かるい、ききやすい」をコンセプトとした補聴器「美聴」を通じて、おもに高齢者の皆様の QOL (Quality of Life) 向上に貢献しています。加齢による難聴の中でも特に聞き取りにくい音域をリアルタイムに強調して人の声を明瞭に聞こえやすくする「くっきりボイス」機能や、耳穴の位置で音を拾う「耳もとマイク」で心地良い音、自然な音のきこえをお届けします。



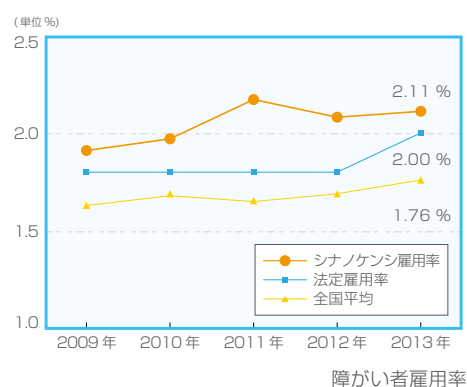
補聴器「美聴」

人権

障がい者雇用の促進

障がい者の高い定着率の実現も社会的責任であると位置づける当社は、障がい者にとって働きやすい職場環境作りを目指し、障がい者の雇用促進に努めています。2013年3月末時点での障がい者雇用率は2.17%となっています。

左記グラフは各年度（期間：4/1～3/31）の集計を使用しております。



公正な労働慣行

- コンプライアンスを維持するための基本的方針を「シナノケンシグループ行動規範」、「グローバル調達基本方針」に定め、グループ内への浸透を図っております。
- 企業倫理に関する自らの行動・周囲の行為、職場の状況など、各従業員が疑問に思うことについての相談や通報を受け付ける「通報窓口」を設置し、問題の事前防止と早期発見につとめています。
- 「公益通報者保護及び管理規程」を制定し、相談者や通報者に対して不利益を与えることを禁止する旨を明記し、これによって相談者や通報者を保護し、リスク発見の機会を拡大しています。



